



www.yokohama-tawawa.jp

秋の啓発活動開催！

支える会の写真パネル展示と

かれん手作り市の合同展



お元気ですか！

この夏は、すっかり自然界の力に振り回されましたが、これもだんだん常態化してしまうのではないかと、なんだか怖い気もしています。地球の歴史から見るとほんの少し間に、急激な変化なのですから。つい気候のせいにしてしまうのですが、元をただせば、人の営みからですから、なんとか人間たちの反省の上にとって、少しでも良い方向に引き戻した

いものだとおもいますが、それも微々たるものに過ぎないのでしょうか... 静かな秋の気配がまたれるところです。

* * *

さて、いろいろ曲折はありましたが、秋一番。9月10日（月）から14日（金）迄、啓発事業の写真パネル展を開催いたします。

これまで、アートかれんのギャラリーで12回、それまでも小規模のものを2回行っていますので、今回は15回目となります。なんとといっても、大倉山のレモンロードに「ギャラリーかれん」が開設されたのが、私たちににとっては、さいわいでした。

ことしもひとかたならぬお世話になることになります。

同じイベントを繰り返すということは、私

* 支える会の主な活動 *

- 8月2日活動ホームしもだ広報
- 6日家族会活動日（毎月曜日）
20日、27日 同
- 21日GHよつばホーム家族会
- 22日港北区特別避難場所連絡会
- 22日ヘルパー・事業所「ウィルサ
ポート」との懇談
- 23日活動ホームしもだ広報
- 25日よつばホーム事務局会議
- 27日活動ホームしもだ事業会議
- 30日啓発事業写真展打ち合わせ
- 31日同「アートかれん」との打ち
合わせ
- 31日しもだ野村職員送別会

たちにも「これでよいか」という自省もあり、この他にもさまざまな問題・課題が浮かび上がってくるとモチベーションも下がりがちですが、やはり地域の方に対する働きかけは、私たちNPO法人「地域で生きる障害者を支える会」のもっとも重要な柱のひとつであります。

今回は、結果として、アートかれんの皆様の応援で、スタイルをかえることになりました。

活動しながら変えるのも、私たちらしいかなと思います。

これまでの支える会の活動を振り返るとともに、重度障害者の生活についても、パネルなどでご紹介したいと思っております。

活動しやすい秋に入り、いろいろお忙しいとは存じますが、お出かけいただければ幸いです。今後の活動についてなどもご意見を頂ければ嬉しくぞんじます。



アートかれんでの写真展で

「地域で生きる障害者を支える会」と アートかれん手作り市の合同展

支える会の写真による啓発活動＝⑬と、アートかれん周辺のものづくりをする人達の展示即売会のゆるやかな応援がコラボした、ユニークな展覧会です。どうぞお立ち寄りください。

記

日時：2018年9月10日（月）～9月14日（金）
10：30～17：30



（初日月曜日13：00から、最終日金曜日16：00迄）

場所：「ギャラリーかれん」

東急東横線大倉山駅 徒歩3分

問い合わせ：アートかれん（045-543-3577）



めがねの声

◆楽しいこともいっぱいあるのよ....

この前の夜、いつもの集いでたまたまちよっと早く着いたので、桜木町の健康福祉センターの窓から、みなとみらいの夜景をみることができました。観覧車が暗い部屋の中から見たら花火のようにきれいでした。ピカピカと色が変わり、まるで障害者を励ましているように見え、しばらくみとれていました。その日は難病の人たちの実際の生活を紹介したビデオをみる勉強会でした。

* * *

私はほんとはちょっと重い障害者だけど、不自由もあるし、不安もあるけれど、自分達とは違った普通の人の生活にはない体験はちょっと面白いかなとおもいます。

健常の人は、ずっと勉強したり、習い事した人が、だんだん大きくなって、結婚して... というような生活をして行くのが一般的。

障害者たちは、いろいろな事でちょっと違う生活をして育つ。ちょっと辛いことや、痛いことや、苦しいことも多くあるけれど、考えようによっては面白い人生かもしれない。自分では、いやだと思ふこともあるけれど、実は変わった体験ができています。

私は、母が普通の一般の人の生活のように、いろいろな所へもつれていってくれました。商店街を回ったり、家で勉強したり、そのうちに、だんだんともだちや先生に教えていただくようになったり... いまは、いくつかのグループで楽しく活動をしたり教えていただいたりして幸せだとおもいます。

皆から見ると、なんて大変なんだと見えていても、それが私の普通の生活なのです。だから私も普通の人です。

お母さんたちの中では「この人たち、結構面白い人生なのかもヨ」という人もいます。

いろいろな生き方があって、車いすだけでなく、呼吸器を付けたり、自分の身体を傷つけないようにサポーターを付けたり、食事をするのに大きなエプロンが必要だったり...、はたから見るとのはつらいし、かわいそうだと思うけれど、それもその人の生活だから普通の事なのです。

* * *

こんな思いをさせるなら、生まれぬ方が幸せだと、生まれる前に手術をして亡くしてしまう人が増えているというけれど、それはちがうと思います。

一人一人違った楽しい生活があり、楽しくするかどうかには、助けも要ります。一般の人から見れば、重度障害者は、ちょっと病気になりやすかったり、生活するのに注意は必要だけど、普通の人間としてみんなの中で普通に生活したい。そして、できれば、辛い時や、困ることを助けてください。それが私の願いです。

大原友子

ご入会ご継続ありがとうございます。

【団体会員】 デジタルサポート630

【敬称略】

今月のよつばホーム&第2よつばホーム

残暑もようやく和らぎ、朝夕はずいぶん涼しくなり、日増しに秋の深まりを感じる様になってきました。

よつばホームの入居者も8月の猛暑を何とか乗り切り、大きく体調崩すことなく過ごしました。

これから秋を迎え、お祭りや運動会など色んなイベントが目白押しです。

9月には活動ホームしもだの旅行を控えているので、油断せずに！引き続き体調に気を付けていきたいと思います。

福祉避難所連絡会

9月1日は『防災の日』です。1923年9月1日に発生した関東大震災にちなんで制定されました。

よつばホームは港北区の福祉避難所として協定を締結しています。

『福祉避難所』とは1次避難所で過ごすことが困難で、特別な支援が必要な高齢者や障害者向けに設けられる2次避難所になります。

よつばホームは大きな施設とは違い、小規模なグループホームです。

小規模ではありますが、微力ながら災害時には協力できればと思います。

先日区役所にて福祉避難場所連絡会がありました。港北区の福祉避難所として登録している施設が集まり、情報を共有したり現状を報告、課題を出し合ったりしました。

設備や備品だったり、マンパワーだったり大きな施設でも様々な問題を抱えています。人手不足なども影響している様です。

よつばホームでも様々な課題を抱えています。微力ながら災害時に備えて準備をしていきたいと思ひます。

花岡さん誕生日☆

「私の誕生日は8月14日だから♪」

誕生日の話題が出るたびにいつも楽しそうに話します。時期を問わず。(^^)

そして8月14日を迎えました。本人のリクエストでいちごのショートケーキでお祝いです。しかも2段！

今年の8月は例年にも増してとっても暑い日が多く、体調管理が難しい夏でした。

そんな猛暑でしたがいつもの笑顔で嬉しさを表現します♪
みんなからお祝いされてとても嬉しそうでした。

